

日本のお金にはどんな歴史があるの？

和同開珎とそれ以前のお金

富本銭（ふほんせん）は飛鳥池遺跡（奈良県明日香村）での1998年の発掘調査で出土、発見されました。それにより、7世紀後半に富本銭がつくられていたことがわかりました。鋳型やヤスリなども出土しています。

写真：奈良文化財研究所



和同開珎

西暦708年に律令政府によって「和同開珎」(わどうかいちん)がつくられました。「和同開珎」は当時、中国の文化や仕組みが積極的に取り入れられていた時代で、中国の貨幣「開元通宝」(かいげんつうほう)をモデルとしてつくられました。大きさも重さもほぼ同じものでした。

写真：日本銀行金融研究所貨幣博物館

